３歳から取り組む運動習慣づくりプロジェクト ～ONAGAWAモデル～

スポまち！表彰2024
②宮城県女川町

＜目標＞　　計画期間：～令和10年３月31日

幼少期からスポーツに触れる機会をつくり、**運動習慣の定着化、体力向上**を図る

①体力向上…体力テストの結果（全国平均以上）　②運動習慣の定着化…運動実施率（70%以上）

＜ＰＲポイント＞

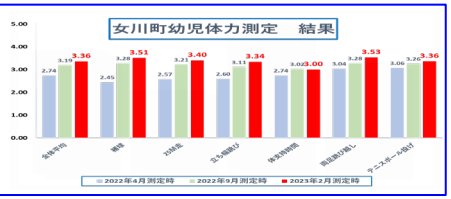
非認知能力UP・・・「できた・できない」の結果だけを評価するのではなく、前の自分と比べてできるようになったことを「ほめる」。さらにプログラム中の動画を保護者に限定公開で配信することで、家庭でも「ほめる」機会が増え、自己肯定感の向上につながる。➡ 運動が好きになる。

プログラムの様子を配信

運動習慣⇒生活習慣の改善・・・年間を通じた活動で運動習慣を身に着けることで生活習慣を改善！

＜現状・課題＞

- 生活様式の変化（コロナ禍など）で外で遊ぶ機会が減少し、子どもたちの体力が低下し、肥満傾向も増加している。
  ➡保育所では年間を通じた運動教室を開催し、**子どもたちの体力はUP！！**
- より効果的な取組とするためには、**保育所～小学校まで継続したプログラムが必要**

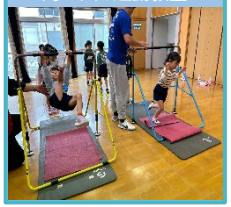


＜総合的な取組内容＞

【保育所～小学校まで継続して運動機会を提供】

それぞれの事業主体が連携し、プログラムを作成。
年間を通して様々なスポーツや体を動かす遊びを体験できる。

キッズスポーツ（保育所）
主：町健康福祉課
月２回の運動教室



アクティブクラブ（小学校低学年）
主：町教育委員会
週２回の運動教室

アクティブネクスト（小学校高学年）
主：総合型クラブ
週1回の運動教室

承認の声掛けを徹底

⇒非認知能力UP

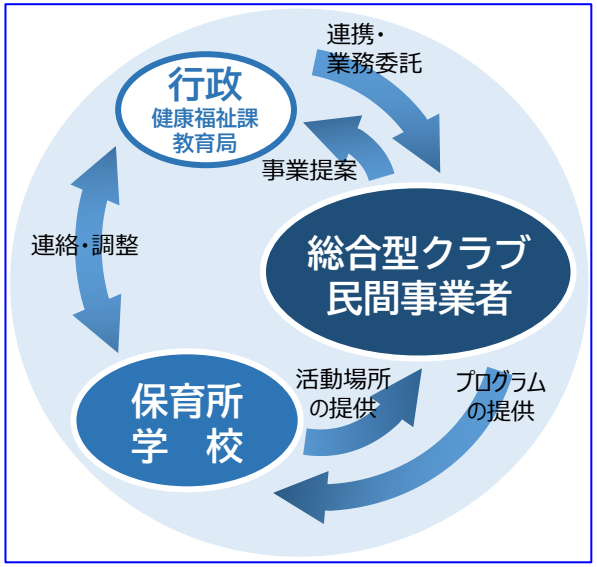
過去の自分と比較してどうなのかを伝える。結果だけでなくプロセスを褒める。

「練習頑張ってるから、遠くに投げられるようになったね！」
「惜しかったね！けど今のチャレンジすごくよかったよ！」

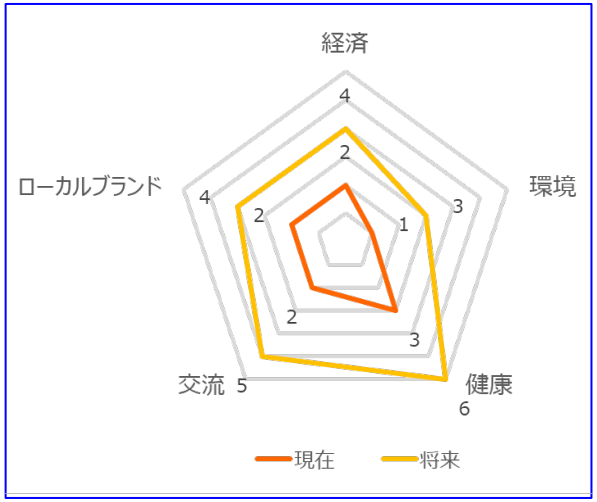
運動が好きになり、自分から体を動かす機会が増加

運動習慣定着
＋
体力向上
＋
生活習慣改善

＜継続的な取組を確保できる体制（図）＞



＜セルフチェックシート＞



【フォローアップ欄】令和7年度以降における計画の進捗状況

問合せ先・電話番号

女川町教育委員会教育局体育振興係
TEL　0225-54-3133